

シフゾウのしぐさ

監修 飼育展示課 / 企画・制作 動物解説員

※ 動物に エサをやったり おどろかしたりしないでね！

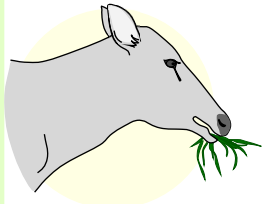
かんさつした日時

20 年 月 日
時 分 ~ 時 分

天気

見られたしぐさに ☒ をしよう！ しぐさは、季節や天気、時間によって変わります。
そのとき、見られたことだけ、しっかりチェックしましょう。

☐ た 食べる なに 何を？

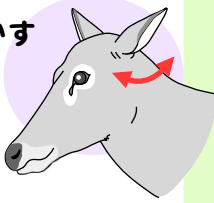


☐ くち 口をモグモグする



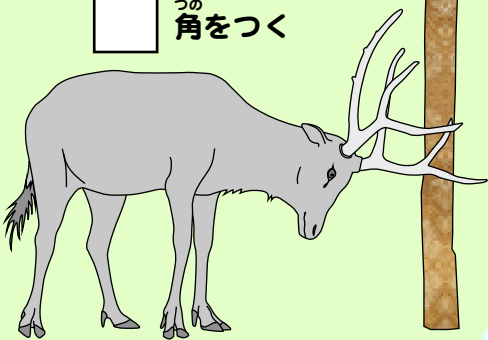
★食べていないときに
モグモグしていたら、
うらへ

☐ みみ 耳をうごかす

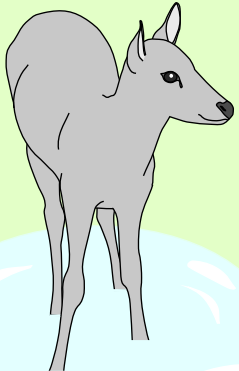


ゆっくり？
ぱたぱた？
どっちに向けた？

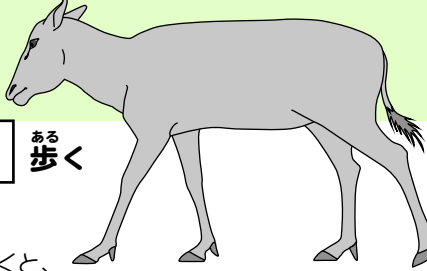
☐ つの 角をつく



☐ みず はい 水に入る



☐ ある 歩く

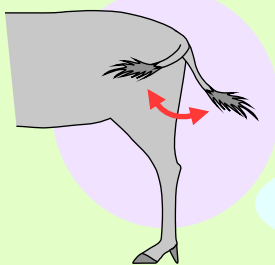


ある 歩くと、
ちい 小さな音がするよ！
おと
どんな音？ どこから聞こえる？

☐ みず 水をのむ

☐ なく どんな声？

☐ しっぽをふる

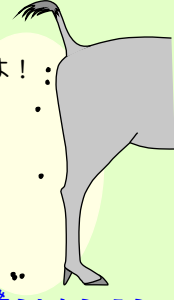


☐ おしっこをする

☐ すわる



☐ うんちをする



しっぽが
あがるよ！
..
..
★見られたら、うらへ

ほかのしぐさ

ほかに見られたしぐさがあったら、なんでも書いておこう

うらにも、あるよ！

じっくり^み見よう！

くち 口をモグモグする

かむとき、あごを
どんなふう^{うご}に動かした？
(まねをしてみてくださいね)

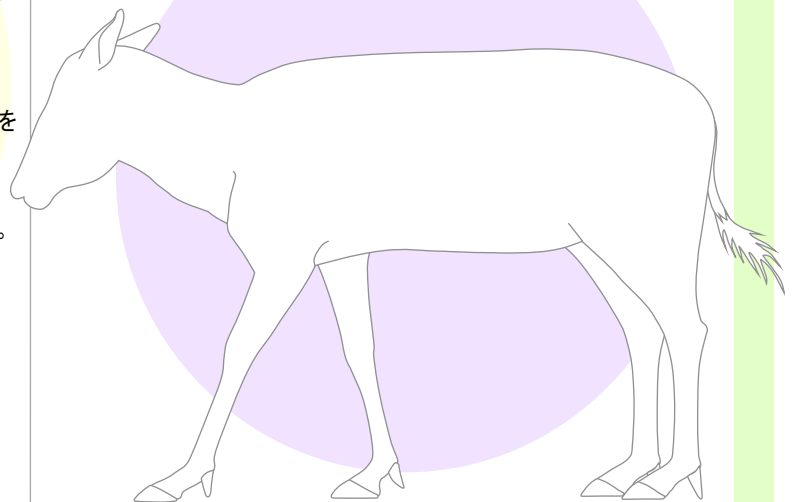


シフゾウは、食べたものを
もう一度^{いちど} 口にもどして、
よく かみます。
「かみもどし」といいます。

モグモグをかぞえてみよう。
なん回^{かい}かんだら、のみこむかな？

ひ 皮ふをピクピクさせる

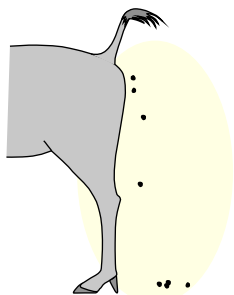
ピクピクしたところに、しるしをつけよう！



うんちをする

どんな かっこうでした？
立^たって？ すわ^{ある}って？ 歩きながら？

どんな うんち？ 形^{かたち}は？ 色^{いろ}は？



1回^{かい}に、なんつ^でぶ 出た？

シフゾウどうしのやりとり

きょうは、どんなやりとりをしていた？

—— シフゾウどうしのやりとり ——

なか 仲のよいものは、そばで休^{やす}んだり、いっしょに歩^{ある}いたりします。
なか 仲のわるいものは、にらんだり、かみついたり、けとばしたりします。
き はんしょく期のオスは、メスのにおいをかいだりあとをつけたりします。

なんでも「メモ」

ほかに気づいたこと、ぎもん^{おも}に思ったことなど、なんでも書^かいておこう

シフゾウのしぐさ < 解説 >

監修 飼育展示課 / 企画・制作 動物解説員

シフゾウ (偶蹄目シカ科)

中国の湿地にすむシカの1種です。ウシと同じように「かみもどし」をする草食動物です。

食べる

舌とくちびるで、えさ(青草や干し草)を口の中にとりこみます。

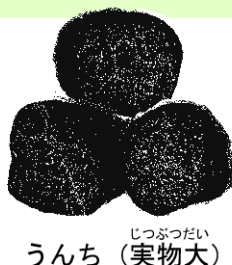


水をのむ

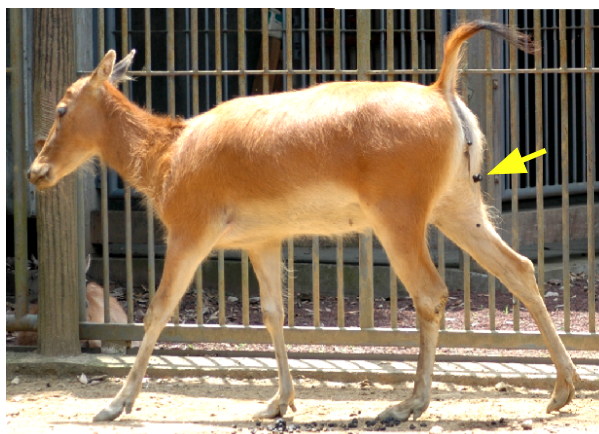
口にずずーっとすいこむようにして、のみます。

うんちをする

歩きながらすることが多いようです。1回にする数は70～150粒です。



うんち (実物大)



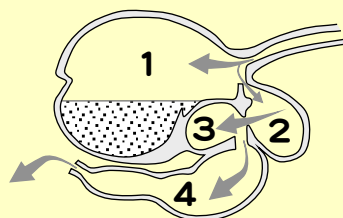
歩く

足を地面につけるときは、ひづめをひらきぎみにします。おとなになると、足のかんせつからパキパキという小さな音がするようになります。

口をモグモグする



えさを食べていないのに口をモグモグしていたら、かみもどしをしています。3分くらい見つづけると、口の中の食べ物のみこみ、胃に入った物をまた口にもどすようすが見られます。



シフゾウの胃のしくみ

ウシと同じように胃ぶくろが4つあり、1番目の胃にすむ微生物が植物の繊維を分解して、消化をたすけます。

すわる



すわるときは、前足のまん中(ヒトの手首にあたります)を地面につき、それから体を地面に横たえます。はじめは前足も後ろ足もありまげていますが、時間がたつと、のばしていることもあります。

耳をうごかす

音のするほうに、左右べつべつに向けることができます。ぱたぱたと動かすときは、たいてい虫をおいはらっています。



みず はい 水に入る

暑いときは、
みず
水にどっぷり
つかって体を
ひやします。水につかりながら「かみもどし」
をしていることも、あります。



シフゾウ同士のやりとり

なか
仲のよいものはそばで休んだりいっしょに移動
したりします。仲のわるいものは、けんかをし
ます。夏の交尾シーズンは、オスがメスのにお
いをかいだりメスを追いかけてたりします。

なく

オスは夏の交尾シーズンになると、大きなひくい
こえ
声でゴゴゴゴーとないて、メスにアピールします。
メスも、オスほど大きな声ではありませんが、ゴ
ゴッと仲間によびかけることがあります。



つの 角をつく

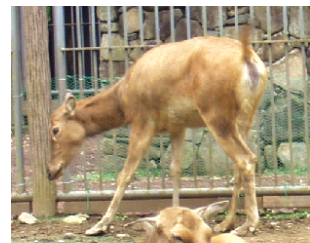
ふくろ角の皮がむける5月ごろから、オスは柱や石がきなどを角でつき
はじめます。角の先をこすってとがらせ、オス同士のたたかいでゆうり
な武器にするためです。夏の交尾シーズンには、大きな動きで地面に角
をつきたてることもあります。自分の力をしめすしぐさです。

ひ 皮ふをピクピクさせる

シフゾウのどう体や足には、皮ふを一部分だけ
びくびくさせられる特べつな筋肉があり、体に
止まった「サシバエ」という血をすう虫をあい
はらいます。

しっぽをふる

からだ
体にとまった虫をあい
はらうために、よくし
っぽをふります。また、
からだ
体にどろや水をかけるために、しっぽをふるこ
ともあります。繁殖期のオスは、自分のおしっ
こを体にかけるためにも、しっぽをつかいます。



メスのけんか



あいてをにらみつけ、首や耳にかみついて、
け
毛をむしりとります。立ち上がって、前足で
けり合うこともあります。こうふんすると、
あ
眼下腺が大きくひろがります。



じゆう けんきゅう
自由研究のすすめ

なんかいも かんさつしよう！

「しぐさシート」を、いろいろな時間、いろいろな天気、いろいろな季節に、なんかいも
やってみましょう。たくさんの記録をながめると、シフゾウの1日の変化やメスどうしの
かわりが見えてきます。はんしよくの季節は、オスが活発に動くようすが見られます。